

皆様こんにちは!

メルマガ担当のトムです。季節は実りの秋を迎えましたが、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？季節柄、連休は雨や台風ばかりでしたが、今後も大きな災害がないことを祈るばかり。

しかし、良い兆しも!コロナ禍の終息に向かい希望の光に見えて参りました。日本各地でのイベントも、少しずつではありますが再開されてきております。当会は引き続き皆様とメール等で対話をさせていただきながら、パラスポーツを応援する活動やイベントを新型コロナ感染防止に十分配慮しながら実施して参りますので、今後ともよろしく願いいたします。さあ、パラ草の会メルマガ第23号の発刊です!!

今回は、下記の内容で進めて参ります。

- 1、お知らせ・最新の活動報告(8月~)
- 2、各種イベント参加予定情報・イベント開催予定
- 3、心のバリアフリーコーナー

【お知らせ・活動報告】

①デフリンピック日本開催決定

2025年11月、聴覚に障がいを持った方(=デフ)のスポーツの祭典「デフリンピック」が日本にやってきます!

当会が手話に注目し始めた頃、調べていくと、なんと「東京都聴覚障害者連盟」が、渋谷区にあることがわかりました。そして、この聴覚障害者連盟がデフリンピックの東京招致を目指していることを知った高橋代表。

草の根からなんとか力になれないかと、広い人脈を武器に懸命に働きかけていました。

そういった方々や、たくさんの方の働きかけで、2025年、日本は世界で唯一、オリンピック、パラリンピック、デフリンピック、3大会を開催した国になります! 2020大会の感動を間近で、もう1度!!

②パラ草手話部

8月末、パラ草手話は、渋谷区文化総合センター大和田、さくらホールで、「ガラコンサート」に出演しました。

出番はトップバッター。時間の問題でリハーサルもそこそこに、本番。

当会のスペシャルサポーターでもある栗山さん(当日は石川でのコンサートのため欠席)の「リアルビクトリー」、若者向けの「春を告げる」、みなさまお馴染み「上を向いて歩こう」の3曲を手話をもとにした振付で踊りました。

大きなステージで、予想以上のお客さんで緊張しましたが、意外と照明で見えない(笑)メインで頑張ってくれた子供たちも、最初は緊張していたようですが、いつの間にか笑顔に♪夏の思い出に1つになってくれていたらいいな~。

本格的な手話講座ではありませんが、ちょっと身体を動かしたいな~という方、月に1~2回、ワイワイ活動しております。興味のある方は、info@parakusa.com から、ご連絡ください。

③車いすラグビー区長杯

9月初旬、渋谷区スポーツセンターで、車いすラグビー渋谷区長杯(兼日本選手権-東京予選-)が開催されました。

当会では、優勝チームへ副賞を提供。東京予選を制した「沖縄ハリケーンズ」の手に!おめでとうございます♪

当日は、生観戦、ライブ配信の2通りの観戦方法があり、よりたくさんの方が応援できるようになっていました。ライブ配信やリモートワークは、コロナ禍で生まれたこれからも日常的に活用できるコミュニケーションツールになったと感じます。

【パラスポーツイベント開催予定及び当会の活動予定】

- 10/10(月)～16(日) 2022 ワールドチャンピオンシップ(デンマーク/ライブ配信あり)
- 10/29(土)～30(日) 車いすラグビー日本選手権-福岡予選-(福岡県田川市/ライブ配信あり)
- 11/1(火)～6(日) パラバドミントン 世界選手権(代々木第1体育館/不明)
- 11/19(土)～20(日) 車いすラグビー SHIBUYA CUP(代々木第2体育館/ライブ配信あり)
- 12/3(土)～4(日) 車いすラグビー日本選手権-予選・プレーオフ-(パラアリーナ/ライブ配信のみ)
- 12/3(土)～9(金) 障害者週間(大学とのコラボ予定、詳細未定)

【心のバリアフリーコーナー】

「スケール」

善悪や成功失敗は、何を尺度にするかによって変わってくる。

法律や道徳の尺度で見れば、盗みや暴力は悪になる。法律は人間が作ったものであるから動物には当然通用しない。肉食獣からより強い肉食獣が獲物を横取りするのは悪とは言えない。

金銭的に成功した者は世俗的尺度から見れば成功だろうが、世俗を捨てて山に籠った出家者から見れば、拘り(こだわり)を山積した失敗者に映るだろう。

本能寺の変、信長と光秀のどちらが悪なのかは見る尺度で変わってくる。

大自然という尺度から見れば、山林開発や戦争兵器使用で自然破壊を繰り返してきた人類は相当な悪になるだろう。恐竜が大自然と食物連鎖などを介して共存共栄していたのに対し、人類は大自然に対して「悪」であるのに、恐竜は滅亡し人類は今繁栄している。「悪の栄えた験(ためし)はない」は、偽りということにならないか(笑)

実際、人間がこの地球上で他の人間と共存するためには、人間の間で善悪や正誤を決めておくしかない。

ルールを作ることが社会を安定させるからだ。

人類は太古の昔からその場所その場所で規律を作り、文明を継続してきた。戦乱で規律を壊し、また作り、また壊し、また作ってきた。

再生と破壊を繰り返して時代は進む。

遙か未来の規範はどうなっているのか、それは太古の昔からすれば遙か未来である現代までの歴史を見れば答えは簡単に予想できる。

人間という存在が始まってから未来永劫、人間は規範や規律に縛られることになる。

何ものにも拘束されないで生きたいと思う瞬間が貴方にはないか？

心の尺度から見れば、何ものにも拘らない(こだわらない)心を持てた時が、成功した時だと言えるだろう。

しかし、何ものにも拘らないというのは、無干渉無気力、あるいは無法者につながりかねない。

人間は五感あるいは六感を駆使して生きている。ならば、それらを十分活用して、最終的に自分が苦しまない習慣的思考を持てるようになればいいのではなかろうか。

例えばこの地球から人為的ものをすべて排除したとしよう。残るのは、大自然と大自然に順応して住する動物たちと無数にある自然界の法則。それらが漫然と存在することになる。そこに尺度は無い。つまり、常に何かしらのスケールで測る癖を持つ存在は、人間だけだということになる。

自分が苦しまないという受け止め方、そこに心のスケールを置けば、人は幸せに生きていけるのではなかろうか。(トム)

※次回のメルマガは11月に発刊を予定しております。冬において皆様とメルマガでまたお会いできますことを楽しみにしております。